

展示物の例

①東日本大震災、南海トラフ巨大地震、高速道路等の役割を紹介するパネル

■東日本大震災の被害の状況

## 「命の道」 高台の道路へ続く 避難階段

津波により冠水した小本小学校(岩手県)では、児童等88人が高台の国道45号に続く避難階段を通り、避難することができました。



岩手県岩手町  
小本小学校

避難訓練の様子(2010.9.3)

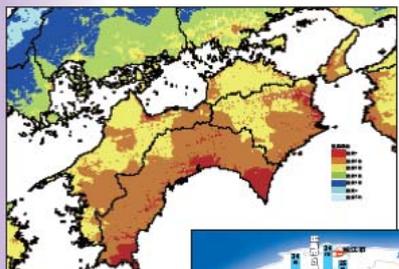
小本小学校児童の命を救った避難階段

国土交通省 四国地方整備局

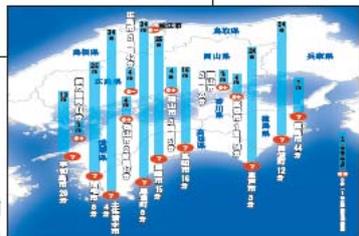
■南海トラフ巨大地震

# 巨大な地震・津波

巨大な地震・津波が発生。四国の95市町村のうち58市町村で震度7以上の揺れが予測されています。また太平洋沿岸部の市町村では、最大津波高が30mを超える津波の襲来が予測されています。



●地表震度分布



●津波の最大値と1mの津波到達時間

国土交通省 四国地方整備局

## 高速道路区域への津波避難場所設置に向けた取り組み 【徳島県】

沿岸部の市町には、「津波避難困難地域」が多数存在

本県では、東日本大震災以前より、高速道路のり面が津波避難場所として有効であると着目し、機会ある毎に政策提言を実施

H23.5 【政策提言】  
「津波避難場所を占用許可施設」として道路法施行令に明記すること

H23.8 提言を具現化する独自の取り組み

H25.4 道路法施行令の改正が実現

H26.2 この取り組みをさらに加速

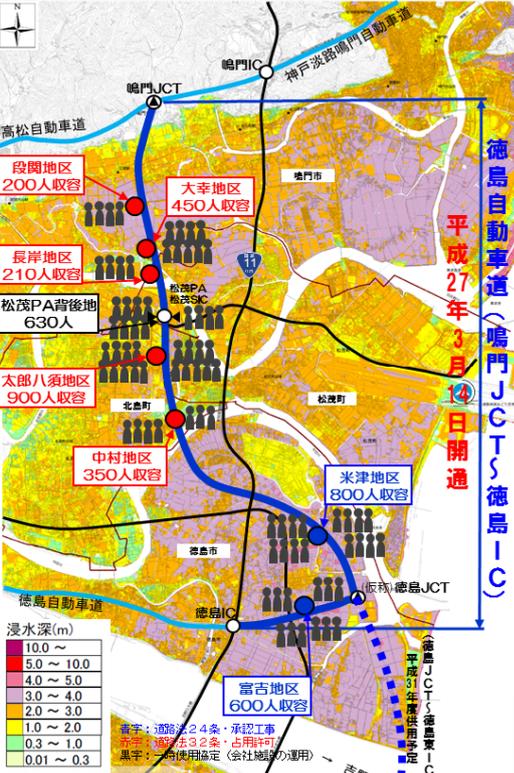
効果

- 住民の安全・安心
- 津波避難困難地域の解消
- 津波避難場所設置に伴う費用負担軽減

約4,100人の津波避難場所を確保

「助かる命を助ける」という理念

- ◆道路が持つ付加価値
- ◆道路はつながってこそ効果を発揮
- 地域防災力の向上!
- 本線の整備促進を!!



徳島自動車道(鳴門JCT)徳島IC

平成27年3月4日開通

浸水深(m)

10.0 ~
5.0 ~ 10.0
4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3

富古地区 600人収容

米津地区 800人収容

中村地区 350人収容

太郎八須地区 900人収容

松茂PA背後地 630人

長岸地区 210人収容

大幸地区 450人収容

段岡地区 200人収容

徳島県津波浸水想定(H24.10.31)